

【中学数学】 第5章 データの活用

体系数学 2/数研出版/代数編

Riku Sugawara

12.2025

第1節 データの整理

1.1 度数分布表とヒストグラム

Definition 1.1 度数分布表

データの範囲を適当に区切ったとき、各区間に含まれるデータの個数を **度数** といい、各区間にその区間の度数を対応させて整理した右のような表を **度数分布表** という。

階級 (cm)	度数 (人)
135 以上～140 未満	2
140～145	4
145～150	5
150～155	8
155～160	11
160～165	9
165～170	7
170～175	4
計	50

表 1.1 身長 of 度数分布表

Definition 1.2 階級

度数分布表において、区切られた各区間を **階級**、区間の幅を **階級の幅**、各階級の中央の値を **階級値** という。

Definition 1.3 ヒストグラム

度数分布表を、柱状のグラフで表したものを **ヒストグラム** という。

ヒストグラムの各長方形の横の長さは階級の幅を表し、高さは各階級の度数を表す。

Definition 1.4 度数折れ線

ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点を結んでできる折れ線グラフを **度数折れ線** という。

ただし、度数折れ線をつくる時は、ヒストグラムの左右の両端に度数が 0 の階級があるものとする。

例題 【教 p.114 追加例題】

表 1.1 において、次の問いに答えなさい。

- (1) 階級の幅は何か。
- (2) 階級の個数はいくつか。
- (3) 階級 140cm 以上 145cm 未満の度数はいくつか。
- (4) 階級 140cm 以上 145cm 未満の階級値はいくつか。

1.2 相対度数

Definition 1.5 相対度数

度数の合計に対する各階級の度数の割合を **相対度数** という。
相対度数はふつう小数を用いて表す。

Theorem 1.1 相対度数

相対度数は次の式で求められる。

$$(\text{相対度数}) = \frac{(\text{その階級の度数})}{(\text{度数の合計})}$$